



貨物新賃金情報

2019年度新賃金要求に対し 昨年を下回るベア200円!

貨物会社は3月15日、新賃金の支払について、①ベア200円、②定期昇給の実施、③55歳以上に対する3000円の賃金改善、④嘱託社員への社員に準じた寒冷地手当の支給、⑤扶養手当の範囲を22歳未満の子までとする、⑥インフルエンザ予防接種を扶養する配偶者も社員と同様に実施、とする回答を行った。しかし中央本部は、国労要求と大きく乖離する「超低額ベア回答」に抗議し、持ち帰り検討とした

会社側回答骨子

- 「JR貨物グループ中期経営計画2016」及び「JR貨物グループ中期経営計画2021」において、社員一丸となって経営改革を推し進め、2年連続して本業である鉄道事業の黒字化、連結経常利益100億円以上を達成した
- 平成31年度においても、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化、鉄道事業の最大の事業基盤は「安全」という認識の下、再度気を引き締めて、個別の施策について、スピードを上げ取り組んでいく必要がある

組合側主張骨子

- 2年連続の有額回答は、社員と家族の生活実態や今日の経営実態からすれば当然だが国労要求と大きく乖離。また災害を社員犠牲で乗り切る手法は認められない
- 鉄道事業部門の黒字化を達成しJR発足以来最高益の経常利益を上げている現状で200円の賃上げでは、社員と家族の厳しい生活実態を直視しないものである
- 55歳以上の賃金改善は、四半世紀を経て踏み込んだ制度改革の経過からすれば極めて不満であり、昼夜を問わず懸命に働く社員に正当に還元しない姿勢は働く意欲に直結し、安全問題にも関わる

緊急抗議集会の開催について (国労仙地指示第35号)

- 日 時 2019年3月20日(水) ①18:30 ②12:25 ③18:00
- 場 所 ①宮城野貨物駅門前 ②郡山総合車両センター正門前 ③郡山分連協事務所
- 対 象 ①宮城県支部・仙総支部 ②福島県支部・郡工支部 ③福島県支部

※本部闘争指示第52号による抗議行動は3月22日正午まで実施する